

第12回吉見町立小学校統合再編準備委員会会議録（要点筆記）

会議の名称	第12回吉見町立小学校統合再編準備委員会
開催日時	令和6年11月27日（水）午後2時30分から午後3時30分まで
開催場所	吉見町中学校2階 会議室
出席委員	久保田秀至委員長、小池幸副委員長、小林正義委員、荒井健博委員、小川広太委員、寺山さおり委員、小田篤委員、栗田智子委員、小澤美穂子委員、小林克則委員、山内哲也委員、西條宏実委員、船田真由美委員、岡崎康友委員、水野智禎委員、吉田清司委員、矢嶋保男委員、瀬戸正広委員
欠席委員	田村はるみ委員、矢吹千保委員、宮崎敦委員、清水彩乃委員、齋藤ダイエゴカズミ委員、小澤俊則委員
事務局	教育長：大澤幸正、教育総務課長：矢嶋久雄、同小学校統合準備室課長補佐：伊田道裕、同小学校統合準備係長：島田久司、同学校教育推進支援員：内田哲雄、同指導主事兼同課長補佐兼学校教育係長：刈谷良嗣 設計委託業者：4名
協議事項	1. 開会 2. あいさつ 3. 前回議事録の承認 4. 議事 （1）専門部会の報告について （2）校章候補の選定について （3）平面計画（案）について 5. その他 6. 閉会
配布資料	資料1：第3回総務部会報告 資料2：平面計画（案）

司会（事務局）	<p><b>1. 開会</b></p>
委員長	<p><b>2. あいさつ</b> 久保田委員長よりあいさつがされた。</p>
事務局	<p><b>3. 前回議事録の承認</b> 第11回の会議録はご指摘等がありませんでしたので、承認されたものとみなさせていただきます。</p>
事務局	<p><b>4. 議事</b> 本準備委員会設置要綱第6条第1項の規定により、進行については、委員長にお願いします。</p>
委員長	<p>議事（1）専門部会の報告について、事務局より説明を求めます。</p>
事務局	<p>議事（1）専門部会の報告について 【資料1】第3回総務部会報告 資料に基づき、第3回総務部会の協議内容等について報告。</p>
委員長	<p>質疑等をお受けします。  (質問等なし)</p>
委員長	<p>議事（2）校章候補の選定について、事務局より説明を求めます。</p>
事務局	<p>議事（2）校章候補の選定について 資料に基づき、校章候補の選定について報告。 校章デザインについては、169名の方から応募をいただき、総務部会で、応募いただいた169案の中から、部会員一人3点を選び一次選定を実施いたしました。その結果、一次選定で7案を校章候補と選定したため、準備委員会で承認をいただきたく、報告します。<b>(別紙7案)</b></p>
委員長	<p>質疑等をお受けします。</p>
委員長	<p>校章デザインを3案選定するというような説明があったが、どの段階で3案を選定するのか。</p>

事務局	第4回総務部会では、一次選定として、事前に169案の中から部会員1人3点を選定し、校章候補案の選定を行いました。
委員長	説明があった、校章候補7案の中からさらに数点に絞込み、教育委員会、そして総合教育会議で決定するという流れになります。
委員長	議事(3)平面計画(案)について、事務局より説明を求めます。
事務局	議事(3)平面計画(案)について 【資料2】平面計画(案) 資料に基づき、平面計画について説明。 前回のグループワークの意見等を踏まえ、計画地が浸水想定区域であること、中学校敷地に建設し、小中の更なる連携強化に取り組むことを掲げていることから、「水害対策」と「小中の教職員の連携」を重視し、職員室を2階とする方針で進めていくことを報告し、施設構成の考え方、ゾーニングの考え方について説明。
委員長	質疑等をお受けします。
委員	水害対策の一環にもなるが、屋根は陸屋根だと雨漏りが懸念されるため、対策等について説明をしていただきたい。
事務局	雨漏りについては、各小中学校ともに、苦慮している状況にあります。設計業者には、新設小学校については、雨漏りがしない形状、仕様とするよう伝えています。
委員長	光庭の屋根の防水対策については、どのようになっているのか。
事務局	校舎の形状から、光や風を取り込むため、光庭を設置する方向で進んでおります。風を取り込むということで、吹き抜けの計画になっています。
設計委託業者	ご説明のとおり、光庭には屋根は設置しない計画であります。 雨は光庭に落ちますが、地面に浸透して排水できるよう計画をします。また、屋上の陸屋根の部分ですが、保護層を確保することで、紫外線等からの劣化を防ぐ仕様を考えております。

委員長	他に質疑等ありますか。
委員	太陽光発電を設置する計画はあるのか。非常口や2階、3階の非常階段はあるのか。
事務局	太陽光発電は設置する計画としています。 また、体育館を2階に配置するため、外から出入り可能な直通階段を設けますので、非常階段としても利用可能な計画としています。その他、普通教室から近い位置に階段を設置し、各学年の移動がスムーズにできる配置とします。また校舎中央に階段を設けることで、緊急避難所にも対応できると考えております。
委員長	他に質疑等ありますか。
委員	中学校と小学校を屋内の渡り廊下でつなぐ計画であるが、1階を塞いでしまうと、避難経路が確保できないのではないかと。
設計委託業者	渡り廊下の1階は通り抜けできるよう計画しております。屋内通路にしたことについては、日常的に児童が移動しやすいということ。そして、将来的に給食センターと接続することを見据えた計画としています。
委員	将来的に中学校の給食を小学校に搬入することになるのか。
事務局	将来的な計画の中で、給食センターと新しい小学校に車を使わずに給食を搬入できないかということを検討しております。その場合に、給食センターから渡り廊下を小学校に繋げることができれば、車を使用せず小中学校の給食が運べることとなります。具体的にいつから実施をするということではなく、そこまで将来を見据えた計画をしていると、ご理解いただければと思います。
委員長	開校時には小学校と中学校の給食は、それぞれの配膳室に運ばれると考えてよいか。
事務局	その通りです。
委員	1階の渡り廊下にドアを付けて通れるようにするということか。

設計委託業	渡り廊下については、通り抜けできるようにすることで、緊急時の動線を保します。日常的に使用するかについては、今後決定したいと考えています。
委員	2階の高さは浸水想定をクリアしているのか。
事務局	中学校の校舎に印されている浸水想定は、3.2mになっていますので、それ以上の位置が、2階になるよう設計をしています。
委員	将来的に、新校舎の配膳室に中学校の給食を搬入し、渡り廊下を通過して中学校側に給食を運ぶ計画だが、移動距離があるということ、また中学校の普通教室の前を給食のコンテナが通ることは想像できない。もっと中学校の校舎も一体となった計画をしてもらいたい。
事務局	現在の状況では、給食コンテナを新校舎に搬入し、それを中学校側に運ぶことは、非常に難しいことであると考えています。 ただ、これは将来、状況等が変化した中で、対応が可能であるかを検討していくことも必要であることから、1階の渡り廊下が様々な形で使えるように想定をしながら柔軟に対応できるよう、屋内での往来ができる計画としています。
委員長	他に質疑等ありますか。  (質疑等なし)
委員長	慎重審議、また多くの意見等いただきありがとうございました。本日の議事が終了しましたので、議長の任を解かせていただきます。 ご協力ありがとうございました。
事務局	<b>5. その他</b> 第13回の準備委員会は、2月で調整しております。決定次第ご案内をさせていただきます。
副委員長	<b>6. 閉会</b> 閉会あいさつ